

川本幸民 （おはとこ まさひと） 蘭學者。文化七年攝津國有馬郡二田町生れ、明治四年六月一日没（八二〇一七）。諱裕、字幸民、幼名敬藏、周民、通稱養徳。號裕軒。藩校進士館を経て、文政十年村上良八の門に入り漢方醫學を學ぶ。十一年藩命により江戸に遊學、足立長清、次で坪井信道の就学蘭學を修む。天保五年二田藩醫、翌年江戸に出、是より蘭業、また青地林京の二女秀を娶る。安政四年蕃書調所（のち洋書調所、開成所と改稱）教授。明治元年歸郷して開塾、二年上京し翌年没。口氣海觀、瀾廣義の他著譯書多數。燐寸試作、寫眞鏡、製糖、麥酒醸造に關する業績がある。

小澤清躬著『蘭學者川本幸民』（昭和二十二年七月）千石兵庫・川本幸民先生顕彰會）刊。



蘭學者川本幸民 醫學博士小澤清躬著

蘭學者 川本幸民

川本幸民先生顕彰會刊